

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25038
事業名	生活道路等整備事業					
評価担当課	所属名	建)土木部 業務課				
	課長名	菅 浩見	担当者名	谷本 雅弥	電話番号	011-211-2612
施策名	主	持続可能な都市を支えるネットワーク___1__交通ネットワーク				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	未整備道路の整備を進めることを目的としており、アクションプラン2019においては、生活道路整備率を2022年度までに86%にすることを目標としている。			
		長期	市民生活に身近な生活道路を整備し、安全で快適な生活環境の提供を目指す。			
	取組内容	安全で快適な生活環境を確保するため、傷みやすい簡易舗装の生活道路等について、歩道設置や舗装構造の改良整備等を年間20km程度実施している。				
	実施結果	令和3年度は、17.3kmの整備を行い、整備率は84.9%と着実に整備が進んでいる。				
事業実施における工夫点	地元に着している各区の土木センターが整備路線の選定や発注を行うため、地域特性や要望を的確に反映している。					
対象者	道路利用者	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	道路法					
他都市の状況	市民生活に密着した道路整備は、他都市においても実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	4,679,081	4,703,800	4,410,943	4,707,442	
うち特定財源	3,653,827	3,602,000	3,401,504	3,614,000	
人工	37.0	40.0	31.0	34.0	
人件費	266,400	288,000	223,200	244,800	
計(事業費+人件費)	4,945,481	4,991,800	4,634,143	4,952,242	
事業費の内訳	令和3年度決算	委託費:209,744千円、工事費:4,096,178千円、補償費等:18,047千円、事務的経費:86,974千円			
	令和4年度予算	委託費:197,000千円、工事費:4,418,180千円、補償費等:2,350千円、事務的経費:89,912千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	市街化区域内における、幅員8m以下の生活道路整備率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	84.30%	85.00%	84.90%	85.50%	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度は、17.3kmの整備を行い、整備率は84.9%と着実に整備が進んでいる。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	市民の生活道路整備に対する要望は大きいため、未整備道路の早期整備が必要であるが、限られた予算の中で、他施策との全体的なバランスを考慮し、適正な事業規模を決定している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	地元に密着している各区の土木センターが整備路線の選定や発注を行うため、地域特性や要望を的確に反映している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	特に生活道路は早期整備が必要であるが、全てを整備するには多くの時間を要する。しかしながら、地元に密着している各区の土木センターが道路状況や利用形態を踏まえ、路線選定を行っているため、地域特性や要望を的確に反映し、効率的な整備を行っている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	未整備道路の早期整備が必要であるが、全てを整備するには多くの時間を要する。このため、道路状況や利用形態を踏まえ、効率的な整備を行っていく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市民要望や地域特性を反映し、効率的な進め方で、着実に整備率を上げている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 今後も同規模の事業量で着実に整備を進めていく。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 同規模の予算を確保していく必要がある。		見直し効果額	0 千円